

講習科目名	【選択】数学講座 I	実施期日	8月19日
時間数	6時間	講習形態	講義形式
主な受講対象者	教諭	受入人数	20人
担当教員	岩田 友紀子		
講習の到達目標 (成績評価の観点)	<ul style="list-style-type: none"> ● 確率空間とは何であるのかその定義を述べることができる。 ● 確率変数について定義と具体例や確率分布との関係を数学的に記述できる。 		
講習の概要	<p>最近の傾向では、小学校・中学校・高等学校の学指導要領において、確率論・統計学の比重がますます大きくなってきている。本講義では、19世紀以降の確率論・統計学の歴史的発展を紹介し、確率的な現象は数学ではどのように扱われてきたのか、また、確率論と統計学はどのような関係があるのか、そして、そのような歴史を踏まえ教科書では確率論・統計学をどのように扱っているのかを皆さんと一緒に考えていきたい。</p>		
講習計画	<p>1時限目：確率論における歴史とその哲学的背景 I 確率の起源と古典論</p> <p>2時限目：確率論における歴史とその哲学的背景 II 4つの主な確率の哲学理論</p> <p>3時限目：記述統計学の基礎</p> <p>4時限目：相関係数と回帰直線</p> <p>5時限目：推定統計学の基礎と確率論</p> <p>6時限目：修了認定試験</p>		
評価方法	筆記試験		
教材・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ● 配布用講義ノート ● 「確率の哲学理論」D.ギリーズ (日本経済評論社) ● 		
受講者に望むこと	<p>大数の法則が実際にどれぐらいのサンプルサイズで成り立つのかエクセルを用いて実験を行うことにします。エクセルを搭載したノートパソコンをお持ちの方は持参して頂けると一緒に確かめることができるかと思います。</p>		

備考	
----	--